

自然資源の循環

<木質バイオマス発電の検討>

- 燃料材の安定供給が事業化の要
- 発電収益のみではなく、排熱も活用することで、事業収支がより一層安定する
例) ビニールハウス栽培、木材乾燥
- 発電出力1,000kWの小規模発電であれば、安定供給が可能
⇒現在の木質需要を拡大し、森林整備につながる（防災・鳥獣被害対策）

木質バイオマスの課題

- ・1,000kW規模の発電所を検討している企業の誘致
- ・立地場所の選定

<建築物への木材利用の促進>

ライフサイクル全体でCO₂排出量がマイナスになる木造住宅も可能。カーボンマイナスという新たな付加価値

<Jクレジット制度の活用>

長岡市内の森林をプロジェクトとして登録し、クレジットを発行。ただし、費用対効果の検証が必要。

実現したい将来像

- ・ **自然資源の地産地消**
- ・ **雇用を生み、自然資源が循環する社会**
- ・ **森林整備によるCO₂吸収源確保**